

平成24年度 認知症高齢者等支援に関する取組状況調査 (案)

三重県では、地域で暮らす認知症の方への支援に資する効果的な施策を推進するため、関係者による三重県認知症施策推進会議を設置し、助言等をいただいています。

また、県内各市町の事例を情報交換し、有効な事例を情報共有することで、県全域の認知症施策の推進に資するため、市町連絡会を開催しています。

つきましては、県内各市町の認知症高齢者支援に関する状況を把握し、県認知症推進会議及び市町連絡会の開催にあたっての資料とするため、昨年度に引き続き、標題の調査を実施いたしますので、お手数をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

※ 該当するほうへ○印をお願いします。また、「はい」に該当する場合は、その内容について記述ください。

認知症高齢者等支援に関して、課題と感じていること

1. 認知症高齢者等支援に関して、最も課題と感ずること、あるいは最も重点的に取り組んでいることをお聞かせください。

認知症者を正しく知るための普及啓発についてお伺いします

2. 認知症を正しく知るための啓発普及として、認知症サポーター養成講座や講演会など実施していますか？

①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、実施していること、及び対象者をお聞かせください。

(例：認知症サポーター養成講座を民生児童委員を対象に実施。)

3. 認知症サポーターが地域で活動している事例はありますか？

①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのような活動かお聞かせください。

(例：認知症サポーターが自主活動グループを結成し、認知症予防教室へ協力。)

4. 市町内事業所の介護職員を対象にした認知症を学ぶための研修や勉強会を開

催したことがありますか？

- ①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなことを実施したかお聞かせください。

認知症の早期発見・早期対応についてお伺いします

5. 見守りネットワークや見守り協力店など地域の方々から、健康状態（認知症）や生活が心配な高齢者の情報が入ってくる仕組みがありますか？

- ①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなことを実施しているかお聞かせください。

6. かかりつけ医、認知症サポート医、認知症疾患医療センターと地域包括支援センター等とのコミュニケーションを円滑に図るために実施していることはありますか？

- ①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなことを実施しているかお聞かせください。

7. 5～6以外で、認知症の早期発見・早期対応に関する取組を実施していますか？

- ①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなことを実施しているかお聞かせください。

認知症の予防についてお伺いします

8. 認知症の予防に関する取組はありますか？

- ①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなことを実施しているかお聞かせください。

9. 認知症の予防につながる介護予防教室や健康教室を開催している場合、参加して欲しいと思う対象者への働きかけはどのようにしていますか？

認知症に関する多職種連携についてお伺いします

10. 認知症に関するケアの調整、事例検討会、ネットワーク会議等を開催していますか？

①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、その参加者の構成や内容等、実施状況についてお聞かせください。既存の資料でわかるものがあれば、それを添付いただいても結構です。

11. 地域包括支援センター等において、認知症高齢者等が利用できる相談窓口、介護サービス事業所、身近な医院、見守りネットワークなどの情報を収集し、マップやリストにしていますか？

①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなものを作成されているか、お聞かせください。

認知症者を介護している家族に対する支援についてお伺いします

12. 認知症高齢者を介護する家族に対する支援、及び、家族の介護負担を減らす取組について実施していますか？

①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなことを実施されているかお聞かせください。

若年性認知症者の支援についてお伺いします

13. 若年性認知症者支援の取組はありますか？

①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、どのようなことを実施されているかお聞かせください。

成年後見制度の市民後見人についてお伺いします

14. 認知症高齢者に親族後見人候補がないケースで弁護士・司法書士等の専門職後見人候補もないケースが今後、増加することが予想されますが、市民後見人の養成について、今後、実施する予定がありますか。

- ①はい ②いいえ

「①はい」と答えられた場合、実施予定時期をお聞かせください。

- ・平成 年度から実施予定。
- ・実施時期は未定。

その他、自由にご意見ください

15. 上記の1～14以外で取り組まれていることで、認知症高齢者の支援に効果が感じられるという事例がございましたら、お聞かせください。

市町連絡会についてご意見ください

16. この後、市町連絡会を開催する予定ですが、情報交換したいこと、取り上げてほしいことなどございましたらお聞かせください。

***** 調査内容は以上です。ご協力ありがとうございました。*****

ご回答担当者様

市・町 所属部署名:

お名前:

参考 平成23年度認知症高齢者等支援に関する各市町実態把握調査

結果から主な回答概要

1. 実態把握調査等

高齢者実態調査の日常生活圏域ニーズ調査や介護予防のための25項目の基本チェックリストを活用していることがわかった。このほか、以前、モデル事業を実施していた市町については、事業実施にあたって町内の介護保険事業所、ケアマネジャーを対象にアンケート調査を行い実態の把握につとめていた。

1. 認知症高齢者等の実態把握のための調査等の取組がありますか？

【高齢者実態調査の日常生活圏域ニーズ調査を活用】 6市町

【介護予防のための25項目の基本チェックリストを活用】 5市町

【介護保険事業所、ケアマネジャーを対象にアンケート調査を実施】 2市町

【訪問調査を実施】 1市町、 【認定調査時に併せて調査】 1市町

2. 最も課題に感じ重点項目として取り組んでいる内容

最も多くの市町が重点項目としてあげていたのは、「認知症高齢者も含めた要援護者の見守りネットワークや支えあい体制づくり」であった。これに関しては対象者も多く、災害に備えての視点もあるためと考えられる。

次いで多いのは、「認知症に対する正しい理解の普及」があがっている。こうした基本的な取組がある程度進んだところについては、「家族支援」や「早期発見・早期対応」、「予防」などの次のステップに進んでいると思われる。

2. 認知症高齢者等の支援施策に関して貴市町が最も課題に感じ重点項目として取り組んでいる内容等お聞かせください。

【見守りネットワーク、支えあい体制づくり】 11市町

【認知症に対する正しい理解の普及】 9市町

【介護している家族の支援】 5市町、 【早期発見・早期治療】 4市町、

【認知症予防の取り組み】 3市町、 【専門職の対応力向上の取り組み】 1市町

3. 早期発見・早期対応の取組

予防教室や健康教室から早期発見につなげる取組が多い。また、見守りネットワークや民生委員のような、その人の身近に居る人から、情報が入ってくる仕組みは、地域包括支援センター職員のみではキャッチが難しい情報も得られると考えられる。

松阪市の「物忘れ相談会」や、四日市市の「相談可能な医療機関」のステッカーの取組は先進的である。

県としては、認知症サポート医や、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者を市町、包括支援センター、郡市医師会へ情報提供することにより、市町の取組を支援したい。

3. 認知症の早期発見・早期対応に関する取組を実施していますか。

【予防教室、健康教室、相談窓口への参加者の観察】 15市町

【書面調査、訪問調査を実施】 3市町

【見守りネットワーク構成メンバー等からの情報】 3市町

【専門医の協力を得て、物忘れ相談会】 1市町

【地区医師会と医療機関の協力により「認知症に関する相談が可能な医療機関」の情報収集と市民への明示】 1市町

【認知症連携担当者の配置】 1市町、 【民生委員との連携】 1市町

4. 予防の取組

認知症予防に特化した予防教室、あるいは一般的な介護予防教室の中で取り上げるなど、「予防教室」で取り組んでいる市町が多い。使っているツールはさまざまで、公文式、スリーA、回想法、体操、ゲームなどがある。

4. 認知症の予防に関する取組はありますか。

【認知症予防教室等】 10市町

【介護予防教室等・・・体操教室や運動メニュー】 11市町

【介護予防講座等・・・認知症サポーター養成講座や健康講座】 7市町

【その他さまざまな取組】 3市町

5. 認知症に関する会議等の状況

医療、介護の分野のメンバーが集まる機会として事例検討会や医療・介護ネットワーク会議、地域ケア会議など規模や目的はさまざまだが、関係者間の会議が開催されている。

徘徊SOSや見守りネットの構築を目的とした会議では、その性質から、警察、消防、民生委員、権利擁護関係者等がかかわっている。

ケアマネジャー情報交換会やケース検討会を開催している市町もあり、対応力・資質の向上、ケアプランチェックなどにもつながる取組である。こうした会での主任介護支援専門員の活躍も期待したい。

また、認知症疾患医療センターが主催する地域連携会議等も一定の役割を果たしている。

上記のような取組が継続することで、顔の見える関係ができ、課題解決のための新たな事業が広がる可能性がある。

徘徊SOSや見守りネットに関する会議については、医療や福祉、介護の分野以外の方々へ認知症に対する正しい理解をいただきつつ、そのネットワークの必要性・重要性へつなげていくことで、認知症の人を地域で支えていこうという機運の向上にも関係してくると思われる。

5. 認知症に関するケアの調整、事例検討会、ネットワーク会議等を開催していますか。

【事例検討会、事例相談会、事例をもとにした研修会（医療・包括・ケアマネ等）】

4市町

【医療・介護ネットワーク会議（包括、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、精神保健福祉士）】 2市町

【地域ケア会議（構成は市町によって様々）】 5市町

【ケース検討会】 5市町

【徘徊等認知症高齢者SOSネットワーク構築事業、高齢者見守りネットワーク会議（民生委員、介護事業所、警察等）】 3市町

【認知症疾患医療センターの地域連携会議に参加】 2市町

【ケアマネ情報交換会】 1市町

6. 若年性認知症者支援の取組

実施している内容は、若年性認知症のご本人を招いての講演会、介護に関わる職員を対象にした研修会の実施、個別の相談支援などであった。

県としては、引き続き、若年性認知症ケア・モデル事業により、支援者向けの研修や、若年性認知症介護のための現場職員研修など効果的な方法を模索しながら、若年性認知症対策を行いたい。

6. 若年性認知症者支援の取組はありますか。

【若年性認知症のご本人を招いての講演会等】 2市町

【認知症連携担当者が訪問等で個別相談支援】 1市町

【介護に関わる職員を対象に研修会】 1市町

7. 認知症高齢者を介護する家族の支援

認知症の介護に特化したものと、幅広く高齢者の介護と、2通りのものがあるが、「家族の懇談会」や「サロン」等の集まりを開催することで、家族支援対策を行っている市町が多い。

次に多い取組が「家族介護教室」である。核家族化によって介護が身近でなくなっていることからニーズがあるのかもしれない。

「徘徊発見のためのシステム導入の際の初期経費の補助」もいくつかの市町で行われている。

「やすらぎ支援員の訪問」や、「家族のリフレッシュのための交流事業」など数は少ないが興味深い取組もある。

7. 認知症高齢者を介護する家族に対する支援について何か実施していますか。

【家族介護者の懇談会や集い（認知症の人と家族の会三重県支部の協力によるもの含む）】 9市町

【家族介護者の少人数でのサロン】 2市町

【家族会の立ち上げ支援（初期経費）】 1市町

【家族の会の開催の後方支援】 1市町、 【予約制の相談会】 1市町、

【家族介護教室】 5市町

【徘徊発見のためのシステム導入初期経費の補助】 3市町

【家族介護者同士のリフレッシュのための交流事業】 2市町

【やすらぎ支援員が居宅を訪問し、家族にかわって本人の話し相手に】 1市町
【要介護認定を受けていない人への短期入所サービスの提供】 1市町
【訪問相談】 1市町、 【介護用品の支給】 1市町、
【同じ介護事業所を利用する家族同士のつどい・交流会】 1市町

8. 認知症を正しく知るための普及啓発

講座・研修・教室以外の普及啓発方法としては、関係者へのインタビューを交えた広報誌の記事の掲載や、見守り協力店を募集する段階での認知症に対する理解などのケースがある。

県としては、引き続き、認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイト養成研修を市町と協働で行っていくとともに、若年層へのアプローチとして、企業のCSRの一環として社員研修での認知症サポーター養成講座を普及していきたい。

8. 認知症を正しく知るための普及啓発として、認知症サポーター養成講座や健康教室など実施していますか。

【認知症サポーター養成講座・予防教室・健康教室・出前講座を実施】 23市町
【講演会】 1市町、 【見守り協力店の募集】 1市町、 【広報誌等の活用】 1市町、
【連続講座】 1市町

9. 市町内で保健福祉部門外と連携している取組

見守りや徘徊SOSのネットワークで連携している例がいくつかある。

町内の広報担当者と広報誌作成の事業を通じて、認知症サポート医やかかりつけ医と情報交換ができたという報告があった。

幅広い分野との協働事業が行われることで、認知症の人を地域で支えていこうという機運が広がると考えられる。

9. 認知症高齢者等の支援に関して、市町内で保健福祉部門外と連携している取組はありますか。

【あんしん見守りネットワーク、徘徊SOSネットワーク等（商店・金融機関・交通機関・警察・消防・介護保険事業所・郵便局・タクシー会社等との連携）】 5市町

10. 上記1～9以外で効果的だった取組

認知症のケアや予防に関して効果があったものを紹介して下さった市町があった。

平成22年度以前のモデル事業実施の市町については、全般的な取り組みの報告をいただいておりますホームページにも公表している。

なお、別途実施した調査において、「見守り&ネットワーク」に取り組んでいるとお答えいただいたのは23市町であった。

10. 1～9以外で認知症高齢者の支援に効果が感じられる事例があれば、お聞かせください。

【認知症のケアや予防に関して】4市町、 【見守り体制、家族支援に関して】2市町

1 1. 実施の際の問題点（苦勞されたこと）や工夫点（配慮していること）

「問題点」としては、認知症サポーター養成講座の若年層の参加者が少ない点やキャラバンメイトの活躍に関することと、医療との関係に関すること、家族支援に関してなどがあがっている。市町間の事例の情報交換により解決できることも含まれている。

「工夫点」としては、医療との関係や取組全体の進め方や規模に関してがあがっている。

1 1. 事業を実施するに際しての問題点（苦勞したこと）や工夫点（配慮していること）など、お聞かせください。

【医療との関係】4市町、 【認知症サポーター講座等に関して】5市町、
【取り組み全体の進め方や規模に関して】1市町、 【家族支援に関して】2市町、
【介護予防】1市町、 【その他】3市町

1 2. (ア) 市町連絡会で取り上げてほしいこと

好事例、先進事例の情報共有を望む声が多く、内容については①家族支援、②医療との連携、③認知症サポーター・キャラバンメイト、の順で多かった。

1 2. (ア) 市町連絡会で取り上げてほしいこと

【情報共有】5市町、 【家族支援】4市町、 【医療との連携】3市町、
【認知症サポーター】2市町、 【地域密着型整備状況等、施設に関すること】2市町、
【若年性認知症】1市町、 【認知症予防】1市町、 【ニーズの把握方法】1市町

1 2. (イ) 三重県及び三重県認知症施策推進会議に期待すること

「市町施策への全般的な助言」「医療と介護の連携に関する助言」「個別ケースへの助言」などがあつた。

医療と介護の連携については、事例収集を行いたい。

個別ケースへの助言に関しては、24年度からの地域包括ケアの事業で、専門家の派遣の事業の実施が見込まれるため、これを使って解決できるのではないかと。

1 2. (イ) 三重県及び三重県認知症施策推進会議に期待すること

【市町施策への全般的な助言】3市町、 【医療と介護の連携に関する助言】3市町、
【市町単位では開催が難しい研修の実施】1市町
【認知症地域支援推進員について】1市町、 【個別ケースへの助言】2市町

